



山田たかゆき

緑と文化のまち 板橋

板橋区の将来像を描く新たな「基本構想」が、平成17年第3回東京都板橋区議会定例会で議決されました。「緑と文化のまち板橋」は、この基本構想の中で示された20年後（2025年）頃までに板橋区の目指すスローガンです。

緑豊かな環境で文化的な生活を営むことに憧れます。私は美術館学芸員だった職歴を活かして文化行政をリードしていく決意です。これまで活用が十分でない施設や収蔵品を見直し、埋もれている区民共有の文化財を有効活用していく（例えば年間100万人来場する区役所で展示）など具体的な提案をしてきました。

しかし財政が厳しい中で、多くの課題も抱えています。施設の複合化や一元化、さらには廃止を行っていく必要があるでしょう。また文化という名のもとに担当する所管の壁を越えて大局に立った政策立案の必要性を感じています。ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、施設（ハード面）に頼らない知恵と工夫の施策（ソフト面）に重点をおいて板橋区の町づくり、人づくりを推進したいのです。

任期の半分を終え、文化振興の面でもっと貢献ができることがあると実感しています。「緑と文化のまち板橋」を子供たちの世代に残せるように国や東京都とも連携を深めて力を発揮していきたいと思います。皆さまからのご意見やご要望も伺っています。あなたの描く「緑と文化のまち板橋」をどしどしお寄せください！



地域行事参加

今年3月、熊野神社で節分祭が行われ、壇上から福豆をまかせていただきました。日曜だということもあって例年以上の盛り上がりの中、下村博文文部科学大臣兼教育再生



担当大臣のお隣で豆まきを致しました。

また緑小学校、志村第四中学校の入学式や卒業式出席をさせて頂きました。母校の卒業生の歌声にはいつも目が潤みます。中台さくら草祭、盆踊りなど様々な地域行事に積極的な参加をしております。姿を見かけることがあったら、お気軽にお声かけ下さい！

文教児童委員会 副委員長就任

文教児童委員会副委員長を拝命しました。5月の定例の委員会では早速、引き締まった審議や発言の助けとなるように報告書類の内容充実について要望をしました。また、

部しか報告されていなかったという報道がされました。板橋区では調べた限り過去5年間そうした事例はなく、適切な報告がされています。

文教児童委員会は区議会議

どのように板橋区教育委員への報告事項を決定しているか、教育委員会定例会の運営方法について基本的な質問をして確認を行いました。

ちようどそのすぐ後、他の地方自治体で教育委員会に提出された陳情が教育委員会に一



員の委員8人の構成です。児童福祉、学校教育、生涯学習、図書館運営を調査し、皆さまに代わって意見や提案をします。特に教育問題についてはいじめ、体罰、学級崩壊、学校選択制、施設老朽化、避難所としてのあり方など喫緊に解決が望まれる社会問題が列

中間報告 行財政のスリム化

2012年6月 平成24年度第2回定例会において 区長に対して事務事業見直しの政策提言を次のように行いました。

「東京都内の自治体では、住民票や国民健康保険などの窓口業務を外部委託する検討を始めています。周辺の自治体と新法人を立ち上げ、区役所の総人件費の二、三割を削減目標にするとのこと。〔中略〕板橋区も実現に向けて周辺自治体とも積極的に推進していただきたいと思いますが、区長のお考えをお示しください。

提言に対して「ご指摘をいただきました窓口業務の外部

挙されます。

教育再生に期待する地域の声を伺っており、責任とやりがいを感じます。子供たちの健やかな育ちを応援することができるよう、板橋で育つ子供たちのために役割を果たしていきます。

委託方式につきましては、現在、足立区で勉強会を立ち上げておりまして、今月中に23区にも参加を呼びかける予定と聞いておりますので、板橋区といたしましても研究の場には積極的に参加していく考えであります。」と区長答弁を頂きました。

現在、板橋区の未来創造プランの中で「戸籍住民課業務の委託化」、「国保年金課窓口業務の委託化」として実現に向けて進められており、平成25年度から年間6000万円程度の削減効果額が想定されています。今後も時代に見合った行政のスリム化実現に向けて注力して参ります。

学校トイレ改修事業

国の「緊急経済対策」に基づく「地域の元氣臨時交付金」が創設され、対象事業として3年計画の予定だった板橋区のサマカン事業が前倒ししての平成25年度単年度事業に変更されました。

元の計画では大便器約460個、対象学校39校での様式化を3年計画で行う予定でしたが、大便器約1,500個、小便器約1,000個、対象学校51校で交換することになり、学校の環境が改善(和式から洋式、床のドライ化、ブース変更等も含む)します。総経費9億8千万円うち国からの交付金7億7500万円です。

本年25年11月頃から来年3月までの間に対象校では改修工事が実施される見込みです。大規模改修未実施の小学校でトイレ環境の改善が図られる予定です。6月7日開催の文教児童委員会にて教育委員会より報告を受けましたのでご報告します。

※サマカン事業…来年度所管で予定している新規事業。毎年、夏場8月中に予算事前協議を行うことからサマーカウンスル事業と呼ばれる。

平成24年度補正予算総括質問

板橋区役所11階にある委員会室にて平成24年度の最終補正予算総括質問を行いました。緊張感のある会場でトッパッターとして1時間40分間、板橋区政に対して質問と答弁を繰り返します。いじめ防止の総合的な取り組みについて、区有財産を活用した文化振興について、特に熱心に質問をおこないました。

質問内容は次の通りです。

いじめ防止の取り組みについて(要旨)

いじめ防止の板橋区の取り組みについて問いました。被害者が命を落とすことなく深刻化する前に相談を受けられる体制整備を教育委員会に求め、予算措置を板橋区に求めました。現状の区の対策は現場の人手不足、教師の多忙化等の理由によっていじめ対策が十分ではないと指摘をしました。また、生徒自らが主体的に取り組むことができるいじめを抑止する学校自主事業

追っかけ!

山田貴之 ブログ・ツイッター

✿ 平成25年度当初予算審議 ✿

〇3月4日

本日は終日区役所にてデスクワーク。平成25年度当初予算案に対しての審議を控え、意見をまとめております。特に所属する委員会が担当する健康福祉事業についてです。やりがいがあります！

〇3月7日 その1

健康福祉分科会、終了しました。平成25年度当初予算について審議しました。特に自殺防止対策、うつ病ケアなどの精神保健行政について時間を取りました。前向きな答弁も頂いたので、質問の趣旨が伝わり、事業が強化されるのが注視していきます。

〇3月7日 その2

かつつけて並べましたが、本当に質問をするときには、資料に関連づけて行います。健康福祉委員会事務事業概要、いたばし未来想像プラン、いたばし健康プラン、そして大切な平成25年度板橋区予算書を使用しました。区民の声、現場の様子などを踏まえて質問できたか、よく反省をします。



〇3月22日

定例議会、午前中に板橋区一般会計予算案、他3特別会計が可決されました。各委員から様々な質問、要望、提案も行われました。追加議案を審議して、本会議に戻り、私は賛成討論を行います。山場を越えてもう少しです。がんばります！

インクルージョンセンター視察

福祉費、生活保護費の増加はどの自治体でも課題であります。稼働年齢層の就労支援を意欲喚起の段階から連続して行う、板橋区の先進的な取り組みをご紹介します。

板橋区役所から徒歩1分、インクルージョンセンターを

視察しました。インクルージョンとは包む、含み支え合うという言葉で、排除しないと言うことです。生活保護を受けている方の就労意欲を喚起し、就職前後のサポート事業を行っています。NPO法人東京オレンヂが委託事業と

して運営をしています。様々な困難があっても就職ができていない方にステップアップしてもらうようにスタッフが寄り添います。ご説明下さった池亀理事長は、「みんな就職したいという意欲はあるのです」と話してくれました。板橋区の先進的な取り組みの成果に注目していきます。



の機会を提供することを求めました。生徒が中心に行ういじめ予防の対策が各地で行われ始めており、効果を上げています。先進的な具体事例を取り上げて訴えました。

【区財産を活用した文化振興について(要旨)】

板橋区庁舎は年間100万人の来庁者があります。区が保有している文化財を庁舎内でも展示し、有効活用を図ることを訴えました。視察先の滋賀県庁では、県庁や公共施設を使用して、アール・ブリュットを省スペースで展示しており、全国から注目される文化発信を行っています。財政が厳しい状況ですが、工夫次第で区有財産を有効活用し、文化振興を図ることは可能です。新たなハコモノに頼らずに板橋区の魅力を伝えることができます。冒険家植村直己さんの国民栄誉賞の楯や数々の絶景を映した写真パネル、教育科学館の美しい標

本、昭和の家具家電などを来庁したついでに気軽にご覧いただけるようになる取り組みです。板橋区立美術館でも年間の入場者は6万人に達しません。区役所が文化発信の拠点となり、従来施設の魅力を掘り起こす切り札になることを提案し、実施に向けて取り組みと答弁を頂きました。

その他、「補正予算の概要について」、「オリンピック・パラリンピック招致につい

て」を質問しました。補正予算総括質問は、限られた時間ではありますが区政全般について質問することができます。選挙公約として掲げた中から「いじめ撲滅」と「文化振興」の取り組み強化を訴えました。

※アール・ブリュット…障害の有無や国籍や年齢などの違いをこえて、作家や作品を尊重する考え方。その考え方によって見出される作品。フランスの画家ジャン・デュビュフエによって世に広められる。詳細はwww.artbrut.jpをご覧ください。

アール・ブリュット 視察

滋賀県庁及びNOIMA
ボーダレスアートミュージア
ム視察を行いました。

ハンディキャップを背負っている方でもアーティストとして作品発表の機会があり、また健常者とわけ隔てのない評価をされる文化振興の在り方を学びました。滋賀県はいわゆる分厚い計画書を作ることをあえてせず、専門家や実務者からの提案書に基づいて3年で実現するために具体策を次々に実行しています。庁舎の一角を見事にギャラリーとしていたり、民間の施設に作品を提供したりと文化財を有効



活用して、文化振興を推進していました。担当職員からも貴重なお話を伺いましたので今後の政策提案に活かしていきます。

ホームページ（HP） リニューアルと お願い

区議会議員ってどんな仕事でしょうか。簡潔に言えば、行政監視と議決権の行使です。実際には付け加える仕事沢山あります。大切な仕事の1つは意見聴取です。区民の皆さまの思いや意見を聴いて考えて議会で発言をし、実現していくことです。意見を聴くために多くの方から話を伺うことや現場に足を運ぶことを大切にしたいと思っています。近年の情報技術革新もあり、伝達手段は飛躍的に増えました。区議会でも総括質問の様子をUstream中継するようになりましたし、議会報告会を開催しようと話し合っています。議会改革調査特別委員会委員としても実現に向けて審議に参加しています。今後とも議会の見える化は積極的に進められるべきと考え

メール登録は
ココから！

ています。

私自身もその一環としてHPリニューアルを行いました。日々の仕事を公開し興味を持って頂きたいと感じています。HPやブログなどを通じて区政に親しみを持ってもらえるように情報発信に努めます。

そこで特に皆さまにお願いしたいのがメール登録です！新しくリニューアルされたHPから簡単にできま

かかる機会が限られるのが実情です。メールを活用して板橋区の速報や区政報告会等の開催情報などをいち早く発信していきたいと思っています。このHPリニューアルをスタートにさらに皆様の意見がキャッチできる仕組みも作っていきたくと考えます。



おねがい

日々の活動はブログでも報告していますので是非ご覧ください！

編集後記

4人家族になりました。6月に待望の姫に恵まれて、親バカ具合が2馬力になりました。長男は兄としての自覚などはまだない、わが道を行く2歳児。ハラハラ、ドキドキ、ワクワクの三拍子そろった子育て中です。仕事と子育ての両立は大変ですが、夫婦仲良く元気にやっています。生まれた日の感動を忘れずに。感謝です。頑張ります。



あたちは元気！

山田貴之事務所

ホームページ ▶ <http://yamadatakayuki.net>



twitter



Facebook

Ameba
Blog

ブログ、ツイッター、フェイスブックはホームページからアクセスできます。

皆さまのご意見・ご要望を是非お寄せください。

〒174-0064 板橋区中台 3-27-サンシティD棟 605号室

TEL & FAX: 03-6906-4547 E-mail: desk.yamada@gaea.ocn.ne.jp